

医療法人 野尻会 熊本泌尿器科病院

深夜透析のご案内



深夜透析に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

〒860-0004

熊本県熊本市中央区新町4丁目7-22

熊本泌尿器科病院

代表電話 096-354-6781

透析センター 096-312-3810

■ はじめに

当院では、患者様の QOL の向上、社会復帰、自立支援を主な目的として 2013 年 5 月から深夜透析を開始しています。

開始当初は 3 名でしたが、2015 年 9 月末日現在、7 名の患者様の深夜透析を行なっています。

■ 深夜透析導入までの流れ

深夜透析を希望される患者様には、医師が面談を実施し、深夜透析を開始する前に、1 ヶ月程度通常の夜間透析をしていただいています。

その期間中に、透析中のイベント（血圧低下・気分不良・シャントトラブル等）はないか、過剰な体重増加はないか、自己管理はできているか等、患者様の日常的な状況を観察致します。

深夜透析は、安全第一を目的としていますので、誰でも実施できるというわけではありません。当院の患者適応基準を満たした患者様を選定して実施しています。

また、導入前には循環器専門医の心機能検査を受けていただき、深夜透析の適応か判断しています。条件を満たし、医師の了解が得られた患者様には、深夜透析同意書を確認していただき、サインをしていただいた後に、深夜透析（透析時間 8 時間程度）を実施しています。

■ 当院での患者適応基準

- (1) 透析中に血圧低下等のイベントがない
- (2) 自己管理ができている
- (3) 循環器疾患がない
- (4) シャントトラブルがない
- (5) 仕事をされていて深夜透析を強く希望されている

■ 自己管理について

安全な透析をするため、1 時間の除水量は目標体重の 1 % 以下（60kg の方であれば、600mL）、1 時間の最大除水量は 800mL 以下と決めています。

体重測定・除水計算・透析機器への計算入力は、患者様ご自身で行なっていただき、その後でスタッフがチェックをします。

■ 遵守事項

- (1) 他の患者様の睡眠を阻害するような行為は行なわない
- (2) 体調不良や発熱がある場合はご連絡をいただき、深夜透析を中止する
- (3) 時間を厳守していただく

■ 透析中止基準

- (1) 医師・スタッフの指示に従われない場合
- (2) 合併症等で安全な透析ができないと判断された場合
- (3) 自己管理が不十分であると判断された場合

■ 定期検査

- (1) 開始前と年1回の循環器受診
- (2) 心電図・胸写（4ヶ月に1回）
- (3) 月2回の一般採血（BNPは3ヶ月に1回）
- (4) 体液測定とBV計監視（月1回）

■ 深夜透析導入までの期間について

当院では、深夜透析を希望されている患者様に、できるだけ早く深夜透析を開始できるようにスケジュール調整を行ないますが、安心・安全な深夜透析が実施できるように、必要最低限の検査や指導を行なう期間を設けております。

- (1) 他院で3ヶ月以上の透析経験がある場合、深夜透析導入までの期間は、最短で約1ヶ月です。

透析中のバイタル確認や、患者様とスタッフとのコミュニケーションの形成、深夜透析導入に向けての指導等を行ない、採血・心電図・胸腹部レントゲン等の検査を実施いたします。

- (2) 透析導入から短期間の場合、深夜透析導入までの期間は、最短で約3ヶ月です。

上記①に加え、透析導入期の指導や患者様に透析に慣れていただく期間とさせていただきます。

いずれの場合も、透析時間は5時間から開始し、状態を見ながら少しずつ延長して体を慣らしていきます。

糖尿病を合併しておられる患者様に関しましては、

- (1) 透析中の血圧が安定している
- (2) 画像診断にて、冠動脈の石灰化が確認されない
- (3) GAが24%未満にコントロールできている
- (4) 当院の内科医の診察にて承諾が得られる

上記の条件を満たせば、深夜透析可能と判断致します。ただし、深夜透析を開始しても、医師の判断により適応外と判断する場合があります。

■ 透析センターの完成

深夜透析を開始した当初は、4床の小さな透析室を使用していましたが、透析患者様の増加に伴い、2014年5月に透析室を増築し、透析センター（3階建て）が完成致しました。

※従来の透析ベッドを含め、同時透析可能なベッド数は102床となりました。

深夜透析は透析センター3階で行なっており、11床のフロアと5つの個室を用意しています。

（深夜透析可能ベッド数16床）

ベッド間隔も広いので、安心して睡眠が確保できます。

個室では更にプライベートの確保が可能となります。

< フロア >



< 個室（有料） >



■ 深夜透析スケジュール



透析時間は8時間で、透析中は、穿刺部に漏血検知センサーを取り付け、包帯固定も行ないます。安眠確保のため、血圧測定は開始時と回収時のみ測定し、睡眠中は測定していません。

■ 深夜透析を体験した患者様の声

- (1) 透析中は寝ているので、透析の体感時間は30分～1時間程度にしか感じない
- (2) 透析開始時間が遅いので、残業ができ、仕事との両立ができる
- (3) 食事制限が緩和されるので、食事がおいしい
- (4) 中2日のきつさがなくなり、体調が改善しているのがわかる
- (5) 回路につながっているので、寝返りをするのが怖い
- (6) 家を留守にするので、家族のことが心配
- (7) 透析後仕事中に眠くなるのがたまにある

■ 最後に

当院では「元気で長生き」を目標に、患者様に透析治療を提供しています。透析時間を延長することは生命予後の延長にもつながり、長時間透析は学会等でもその効果が多く発表されています。

当院では、積極的に長時間透析をお勧めしています。また、透析液の清浄化にも力を入れ、水質管理に万全の注意を払っています。深夜透析では8時間という長い透析時間を提供することで、数多くのメリットが期待できると考えています。

最初は、慣れない環境でなかなか寝つけないと言われる患者様もおられますが、回数を重ねるごとに、徐々に眠れるようになってこられるようです。個室も完備し、プライベートの確保にも十分対応しています。

熊本県下で深夜透析を提供している他の2施設と当院で定期的集まり、深夜透析検討会（各施設の医師・臨床工学技士・看護師・事務が集まり各分野で意見交換を行う）を実施して、透析治療の向上に努めています。

深夜透析を開始して2年数ヶ月ですが、今後も安心・安全な、質の良い透析治療を提供していきたいと考えています。